



金泉中だより

第5号

令和8年7月9日（木）

佐賀市立金泉中学校

校長 西岡 いずみ

《学校教育目標》 元気あふれる学校
目指す学校像 ～志をもち 夢をかなえる学校～

「志をもち 夢をかなえる」

～サッカー日本代表・鎌田大地選手に学ぶ～



学校 HP はこちらから

6月29日（月）の全校朝会での校長の話で、ワールドカップ 2026 で熱戦を繰り上げたサッカー日本代表・鎌田大地選手の歩みから、「志をもち 夢をかなえる」ことについて話をしました。

かつてサガン鳥栖にも所属し、現在は世界最高峰のイングランド・プレミアリーグで活躍している鎌田選手ですが、最初から完璧なスーパースターだったわけではありません。

京都の東山高校サッカー部に入部した当時の鎌田選手は、技術は抜群だったものの、「自分さえよければいい」という自己中心的と見られる一面があったそうです。しかし、当時の監督や仲間との関わりの中で、鎌田選手は「海外で活躍する」という大きな夢を叶えるためには、技術だけでなく人間性を高めることが不可欠であることに気づきます。

そこからの行動の変化が、彼の運命を大きく変えました。目標を達成するために「自分に足りないものは何か」を問い続け、サッカーの練習だけでなく、日々の生活面から見直しました。部の規則を自ら率先して守るよう周囲に呼びかけ、ピッチの外でも誰もが手本とするような行動を徹底しました。さらに、周囲の仲間を思いやり、困っている友がいれば真っ先に手を差し伸べるようになりました。自分一人のためにサッカーをしていた少年が、チームや集団のために行動できる存在へと成長し、やがて信頼されるキャプテン（主将）へと変わっていったのです。鎌田選手にとって高校時代は、まさに「人間性が育った場所」でした。

「海外で活躍する」という個人の「夢」に対して、鎌田選手は「仲間を大切に、人間性を高める」という強い「志」をもったからこそ、世界のトップレベルで戦う今があるのです。



夢をかなえるために、その夢や目標に向かって努力することはもちろんですが、それだけで夢をかなえることはできません。皆さんには、夢に向かうための土台となる日々の生活・自身の行動、そして周囲の仲間を思い、共に成長しようとする「豊かな人間性」を育てほしいと願っています。

《雄飛学園 フリー公開授業》



金泉中校区3校（金泉中・金立小・久保泉小）は「15の春」に向け、育ちと学びの連続性を図った小中連携教育「雄飛学園教育」に取り組んでいます。年間を通して合同研修会を行ったり、部会に分かれて研究を進めたりすることに加えて、小中でお互いの授業を参観し、授業内容や生徒の様子についての情報共有も行っています。今年度は6月18日（木）に、両小学校の先生方が参観に来られました。小学校でお世話になった先生方の姿に、生徒たちも嬉しそうでした。参観された先生方からの承認カードには“授業への集中が素晴らしい”“自学ノートへの取組、グループでの学び合いの様子、成長を感じました”など称賛の言葉が書かれていました。小学校卒業後も温かく見守っていただいていることをありがたく思います。



今後も子どもの良さを伸ばしていけるように、小中で連携しながら教育活動を進めていきます。

《佐賀市中体連》

6月27・28日、7月4・5日に佐賀市中体連が行われました。どの競技も、これまでの練習の成果を発揮し最後まで全力を尽くしました。



中学校最後の大会となる中体連。結果（勝敗）も大切ですが、それ以上に仲間を信じ、励まし合い、目標に向かって戦い続ける姿に、多くの感動をもらいました。満足する結果が得られた人、悔しい思いをした人、そのどちらにも学ぶものがあつたはずです。この大会で経験したことは、これからの成長に繋がる大きな財産です。大会で培った「あきらめない心」「仲間を思う心」「周りへの感謝の心」をこれからの学校生活や新たな目標に向けて生かし、一人一人がさらに成長してくれることを期待しています。

これまで、選手を支えてくださった保護者、地域の皆様ありがとうございました。



【中体連県大会に出場します！】



野球部 優勝



剣道部女子団体4位

【中体連県大会の予定】

- 軟式野球・・・7月18日（土）～22日（水）
- 剣道・・・7月18日（土）・19日（日）
- 陸上競技・・・7月11日（土）・12日（日）
- 水泳・・・7月18日（土）・19日（日）

金泉中・佐賀市の代表として、
最後まで全力で戦ってください！
全校で応援しています！！

今ある平和に感謝を！



6月23日（火）の朝の放送で、この日が「沖縄慰霊の日」であることを伝えてくれました。

普段はなかなか「平和」についてじっくりと考える時間がもてていないかもしれませんが、機会を見つけて「平和」について考えることは大切なことです。

6月23日は「沖縄慰霊の日」です。81年前、沖縄では多くの尊い命が失われる激しい地上戦がありました。子どもをはじめ、多くの人々が戦争の犠牲となり、家族やふるさと、そして未来への夢を奪われました。

私たちは、戦争を体験した世代ではありません。しかし、その悲しみや苦しみを知り、語り継ぎ、平和の尊さを学び続けることに大きな意味があります。

毎日学校へ通い、友達と笑い合い、学び、夢を語ることができる日常は、決して当たり前ではありません。多くの先人たちが「二度と戦争を繰り返してはならない」と願い、その思いをつないできたからこそ、今の私たちの暮らしがあります。

平和は誰かが与えてくれるものではなく、一人一人が日々の暮らしの中で育み、守り続けていくものです。しかし、それは特別なことではなく、相手を思いやること、違いを求めること、命を大切にすることを積み重ねていくことです。

そのことを心に刻みながら、平和であることに感謝し、毎日を精一杯過ごしてほしいと思います。